

公益社団法人日本地震学会 2020 年度第 1 回理事会議事録

1. 日 時 2020 年 4 月 22 日 (水) 10:00~13:55
2. 場 所 新型コロナウイルス感染拡大予防のため Zoom を利用したビデオ会議により開催
議長：名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科
事務局（議事録作成）：埼玉県春日部市
3. 理事数 15 名
4. 出席者 理事 14 名，監事 3 名，オブザーバー 2 名
 - ・理 事：山岡耕春，久家慶子，古村孝志，汐見勝彦，内出崇彦，大林政行，加藤 護，河原 純，竹内 希，中川和之，根本泰雄，干場充之，松島信一，三宅弘恵
 - ・監 事：尾形良彦，末次大輔，鈴木善和
 - ・オブザーバー：日本地震学会賞選考委員長，中島淳一
 - ・事務局：中西のぶ江，岡野美紀子

5. 審議事項

議長山岡耕春は，本日の理事会がビデオ会議システムにより，出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意思表示が互いにできる仕組みを確認後，理事出席者が 14 名であり定足数を満たし理事会が成立することを宣言した．続いて，以下の議案について，逐次審議に入った．

第 1 号議案 学会賞（日本地震学会賞・論文賞・若手学術奨励賞・技術開発賞）受賞者の決定について

2019 年度日本地震学会賞推薦候補者について日本地震学会賞選考委員長より選考結果が報告された．審議の結果，2019 年度日本地震学会賞受賞者を以下の通り決定した．

2019 年度日本地震学会賞受賞者：尾形良彦

授賞対象業績名：地震活動の ETAS モデルと統計地震学理論の体系化

2019 年度論文賞推薦候補論文について，論文賞選考委員長より受賞候補論文 3 編の選考理由が書面にて報告された．審議の結果，論文賞受賞対象論文を以下の通り決定した．

- ・ OpenSWPC: an open-source integrated parallel simulation code for modeling seismic wave propagation in 3D heterogeneous viscoelastic media
- ・ 著者：Maeda, T., S. Takemura, T. Furumura
- ・ 掲載誌：Earth Planets and Space (2017)69:102

DOI: 10.1186/s40623-017-0687-2.

・ Variations in precursory slip behavior resulting from frictional heterogeneity

・ 著者：Yabe, S. and S. Ide

・ 掲載誌：Progress in Earth and Planetary Science (2018) 5:43

DOI: 10.1186/s40645-018-0201-x.

・ Adjoint tomography of the crust and upper mantle structure beneath the Kanto region using broadband seismograms

・ 著者：Miyoshi, T., M. Obayashi, D. Peter, Y. Tono and S. Tsuboi

・ 掲載誌：Progress in Earth and Planetary Science (2017) 4:29

DOI: 10.1186/s40645-017-0143-8.

2019 年度若手学術奨励賞推薦候補者について若手学術奨励賞選考委員長より受賞候補者 3 名の選考理由が書面にて報告された。審議の結果、若手学術奨励賞受賞者を以下の通り決定した。

・ 浦田 優美（所属：防災科学技術研究所）

物理素過程と応力場を考慮した 3 次元動的地震破壊過程の研究

・ 吉田 圭佑（所属：東北大学大学院理学研究科）

自然地震データに基づく応力と断層強度に関する研究

・ 吉光 奈奈（所属：東京大学地震研究所）

地震発生環境の理解に向けた室内岩石実験から自然地震までの架け橋

2019 年度日本地震学会技術開発賞推薦候補者について日本地震学会技術開発賞選考委員長より選考結果が書面にて報告された。審議の結果、2019 年度日本地震学会技術開発賞受賞者 2 件を以下の通り決定した。

2019 年度日本地震学会技術開発賞受賞者：国土地理院 GEONET グループ

授賞対象功績名：GEONET の継続的長期運用技術の開発とそれに基づく地球科学への貢献

2019 年度日本地震学会技術開発賞受賞者：藤田雅之、松本良浩、佐藤まりこ、石川直史、渡邊俊一、横田裕輔

授賞対象功績名：定常的な GNSS-A 海底地殻変動観測技術の確立と地震学への貢献

なお、日本地震学会賞選考委員会、若手学術奨励賞選考委員会、技術開発賞選考委員会から、各賞の推薦方法や公募についてのコメントがあり、次回の公募に向けて理事会及び表彰委員会で検討することとした。

第2号議案 事業報告書案について

汐見常務理事より監事による監査を受けた2019年度事業報告案について説明が行われた。審議の結果、理事ミーリングリストで最終案を確認の上、総会に付議することとした。

第3号議案 収支決算書について

竹内理事（会計担当）から監事による監査を受けた2019年度収支決算報告案について説明が行われた。審議の結果、原案を全会一致で承認し、総会に付議することとした。

第4号議案 2020年度定時社員総会の開催について

汐見常務理事より、2019年度第6回理事会で決定した総会の開催について、会場を使用できなくなったこと、今般の状況から会場を設けての総会の開催は難しいことが報告された。改めて2020年度定時社員総会の開催について提案され、6月3日（水）午後にZoomのシステムを利用したオンライン開催（書面および電子メールを利用した電磁的方法による議決権行使を併用）とすることを全会一致で承認した。また、初めてオンラインを利用する総会開催となることから、代議員および会員への丁寧な説明と、円滑な総会運営のための準備を行うことを確認した。

第5号議案 入会承認について

汐見常務理事から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった4名（内学生2名）の入会を全会一致で承認した。また、提出された学生会費適用申請書についても承認した。

第6号議案 秋季大会参加登録料改定、非会員向け参加1日券の導入について

大林理事（大会・企画担当）から、秋季大会参加登録料改定および非会員向け参加1日券の導入について説明が行われた。参加登録料の改定根拠として過去5年間の秋季大会の開催にかかる直接経費のほか管理運営費の事業按分を含めた全体経費について資料が提示された。引き続き非会員向けの参加1日券の導入について説明が行われ、大会受付での手続きについての確認、セッションが2日にわたる場合の対応や、特別セッションへの発表の1日券について等の意見が出された。審議の結果、秋季大会参加登録料改定および非会員向け参加1日券の導入について承認した。

第7号議案 著作権規定の改定について

著作権規定改定 TF から著作権規定の改定案および同意書について資料が提示された。審議の結果、鈴木監事から指摘された体裁を修正した改定案を承認し、準備ならびに周知にかかる期間を確保するため、2020年10月1日から適用することとした。

第8号議案 プライバシーポリシーの制定について

汐見常務理事から引き続きの検討事項であるプライバシーポリシーの制定について説明された。2月の理事会で検討した確認事項について鈴木監事に確認をし修正したプライバシーポリシーを作成したこと、また広報委員会による収集する情報の追記事項について報告された。審議の結果、プライバシーポリシー及び運用に関連する申請及び手続きについて承認した。

6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 汐見常務理事より、正会員 33 名（内学生 22 名）の退会届が提出されたとの報告があった。また、退会理由に海外からの会費の納入についての記載があったことから、今後は在外会員の会費振込について当該会員に説明を行うことが確認された。
2. 河原理事（海外渡航旅費助成金審査・表彰担当）より業務執行報告が行われた。海外渡航旅費助成金審査事業については、助成対象大会の延期により 2020 年度 IASPEI 関連国際学術大会渡航助成金の公募を中止したこと、事業報告書案を作成したこと、2020 年度委員構成が報告された。表彰事業については第 17 回日本学術振興会の学会推薦において 4 名の推薦を決定したこと、2020 年度の科学技術に関する黄綬・紫綬・藍綬受賞候補者の学会推薦の公募を開始したこと、日本学術振興会育志賞の学会推薦の募集を開始したこと、第 37 回井上学術賞受賞候補者の学会推薦の募集を開始したこと、事業報告書案を作成したこと、2019 年度委員構成について報告された。
3. 三宅理事（欧文誌運営担当）より、業務執行報告が行われた。2020 年度 EPS 基金及び科研費の予算案が承認されたこと、EPS 誌編集委員会において、2019 EPS Excellent Paper Award 1 編、2019 EPS Young Researcher Award 1 名が選出されたこと、EPS 誌次期編集委員長選考委員会の最終報告書が 5 学会会長に提出されたこと、2020 年 3 月末の EPS の Impact Factor 暫定値、新型コロナウイルスの影響による国際共同広報活動について、2020 年度 EPS 誌運営委員会の体制について報告された。

4. 田中理事（広報担当）より，書面により業務執行報告が行われた。5月1日に発行予定の「なるふる」121号を校正中であること，JpGU-AGU2020中に開催予定であった記者懇談会の開催を中止したこと，2020年4月1日に南海トラフ臨時情報に関する項目をFAQに追加したこと，学会WEBに実装されているGoogle Analyticsに関してプライバシーポリシー案の修正を検討したことが報告された。
5. 内出理事（学会情報誌担当）より，業務執行報告が行われた。『地震（ニュースレター部）』およびメールニュースの発行を滞りなく行っていることが報告された。
6. 根本理事（学校教育担当）より業務執行報告が行われた。教員免許状更新講習準備状況及び東京大学地震研究所への後援依頼を行うことが報告された。また，新型コロナウイルス感染症の影響による講習の延期や中止等の判断について，理事会での審議事項とするか相談された。議論の結果，次のように対応することとなった。講習を延期，中止等する場合は委員会で決定し，その旨を理事会へ速やかに報告する。講習の中止等の議論にて委員会単独での決定が難しい場合には，その旨を理事会へ伝え，理事会と相談の上で決定する。なお，この旨を次期学校教育担当理事へ遅滞なく引き継ぎを行う。
7. 加藤理事（地震編集担当）より，業務執行報告が行われた。4月10日現在7編を編集集中で，3編を受理し刊行準備を進めており，冊子体5月号には1編を掲載予定であること，新年度の委員会へ編集状況の確認及び引継ぎを行ったこと，第1回委員会をリモート会議とする予定で調整を行っていることが報告された。
8. 大林理事（大会・企画担当）より業務執行報告が行われた。3月18日にZoomで開催された委員会において秋季大会セッションについての検討および台湾とのジョイントセッションについて検討したことが報告された。次に，4月21日にZoomで開催された委員会において審議された事項について以下の通り報告された。地震学夏の学校について開催方式等を変更したことが内出理事より報告され，引き続き大林理事より2020年度秋季大会，2021年度秋季大会の準備状況および大会投稿規則の改定について報告された。特に2020年度の秋季大会の開催については今般の状況から那覇市での開催の可否についての判断時期について各会場のキャンセルポリシー等を挙げて説明が行われ，オンラインでの開催の検討を始めたことも報告された。理事からは学生の発表の場を確保するためにも中止ではなく開催方式の変更等で開催を検討してほしいとの意見が出され，他の学会の状況等も確認しつつ中止はしない方針で検討することとなった。また，新型コロナウイルス感染症による講習会等

の事業への影響を鑑み、各事業担当者による情報交換のためのメーリングリストを設けることとした。

9. 中川理事（普及行事・ジオパーク支援担当，社会活動基金事業担当）より業務執行報告が行われた。普及行事事業では，2020年サマースクールの実施を来年度に延期することを決定したこと，サマースクールのWEBサイトの準備状況が報告された。ジオパーク支援事業については5月に開催を予定していたジオパークガイド講習会を中止したこと，日本ジオパーク委員会の委員変更が報告された。
10. 久家理事（連絡会議担当・国際担当・ダイバーシティ推進担当）より業務執行報告が行われた。3月27日にモノグラフ6号を刊行したこと，ダイバーシティ推進委員の2020年度の委員構成について，IASPEI委員会は日本学術会議の委員が今秋交代予定であることから，まだ委員が未定であることが報告された。
11. 事務局から新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受けての在宅勤務において，会費請求事務の手配について報告が行われた。5月に会員への会費納入の案内を電子メールおよび学会WEBサイトにおいて行うが，会員登録情報や会費振込用紙の発送は緊急事態宣言が解除されるなど，現在の状況が改善してから行うこととした。また，指導教員の押印が必要な学生会費適用申請書については，今般の事情から学生会費の適用を申請する学生は押印をしない適用申請書の電子ファイルを指導教官を通して学会事務局へ提出する方法でも受け付けることとした。